



への 市議会だより

40号
平成28年
8月15日

6月定例会

- 定例会の概要と主な議案の内容・・・2ページ
- 主な質疑応答・・・・・・・・・・4ページ
- 討論・・・・・・・・・・5ページ
- 審議結果・・・・・・・・・・6ページ

- 一般質問・・・・・・・・・・7ページ
- 政務活動費の報告・・・・・・・・14ページ
- 活動報告・・・・・・・・・・16ページ

「つかまえた！」すばしこいアユに悪戦苦闘しながらも、成果は上々（金田一温泉まつり・アユつかみ大会）



一般会計補正予算は **2億4,184万円** を追加!

6月定例会は、6月9日から6月21日までの13日間開催され、本会議や常任委員会でも活発な議論が交わされました。初日と最終日には、10月に開催される「希望郷いわて国体」を盛り上げようと、議員や市長ら全員が国体PRポロシャツを着用し、本会議に臨みました。

初日の本会議では、市長から平成28年度の一般会計補正予算案など11件の議案が提出され、提案理由について説明がありました。「固定資産評価員の選任に關し同意を求めることについて」はその場で採決が行われ、議員全員の同意を得ました。また、「二戸市ふるさと振興株式会社の経営状況について」など4件の報告がありました。

13日、14日には6人の議員が一般質問に立ち、国内外での特産品PRの方向性や鳥獣被害対策、子育て支援の拡充など、市長や教育長の見解を求めました。

15日の議案審議では、市長から提出された議案について質疑を行った後、さらに検討を重ねるため、所管の常任委員会へ審査を付託しました。

16日は3つの常任委員会に分かれ、それぞれ本会議で付託された案件を詳細に審査しました。

最終日の21日は、各常任委員長が付託案件の審査結果と主な審査事項について報告。この日市長から追加提出のあった3件の議案を含め、全ての議案が原案のとおり可決されました。また、2件の請願と議員から提出された条例案、意見書案、決議案についても、全て原案のとおり可決されました。

主な議案の内容

条例案

●二戸市乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例

乳幼児及び妊産婦に対する医療費の給付方法を一部変更しようとするものです。

【改正点】 これまでは、医療機関の窓口で医療費を支払った後、市に申請し助成してもらう形でしたが、今回の改正により、県内の医療機関に限り保険証と新しい受給者証を提示すれば**従来の窓口負担額を支払わずに医療サービスが受けられるようになりました**（8月1日より）。

※ただし、住民税課税世帯の妊産婦については、窓口で自己負担があります。

●二戸市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

課税免除の期間を定める省令の改正に伴い、課税免除の適用期間を平成29年3月末まで1年延長するものです。

●二戸市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、所要の改正をするものです。

●二戸市汚水処理施設設置等に関する条例を廃止する条例

二戸市戸花住宅団地汚水処理施設を公共下水道に切り替えるため、廃止するものです。

補正予算

- 平成28年度二戸市一般会計補正予算（第2号）
【補正額】 2億2,909万円
職員の異動等による人件費の調整とその他の補正です。

主な内容（歳出）

- ▼自治体情報セキュリティ強化対策委託料 2億20万円
情報流出防止対策の抜本的強化にかかる委託料です
- ▼自治総合センターコミュニティ助成事業補助金 1,810万円
宝くじ助成金を活用したコミュニティセンター建設、備品購入に対する補助金です
- ▼個人番号カード関連事務委任交付金 679万円
地方公共団体情報システム機構に対する交付金です
- ▼中央児童クラブ実施設計業務委託料 1,633万円
中央児童クラブ整備にかかる委託料です
- ▼多面的機能支払交付金 293万円
地域による農用地、水路、農道等の保管理事業に対する補助金です
- ▼県営農地整備事業調査費負担金 560万円
調査業務を県が実施することに伴う負担金です

- 平成28年度二戸市一般会計補正予算（第3号）
【補正額】 1,275万円
地方創生推進交付金を活用し次の事業を行うものです。

内容（歳出）

- ▼公民連携まち再生事業 530万円
地域住民や産学官金関係者がまちづくりの検討を行い、実践体制の整備等を行うものです
- ▼地域産業高度化推進事業 745万円
市内中小企業よりモデル企業を選定し、専門家の助言等により経営改善を行い、その手法を他企業にも波及させようとするものです

協議

- 岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議について
平成28年3月31日に岩手北部広域環境組合が解散したことに伴い、岩手県市町村総合事務組合規約から団体名を除くものです。

人事案件

- 固定資産評価員の選任に関し同意を求めることについて
次の委員の選任について同意しました。
- ▼固定資産評価員
盛岡市小鳥沢 佐野 眞雄 氏

財産の取得

- 財産（小学校用コンピュータ機器等）の取得について
- 財産（中学校用コンピュータ機器等）の取得について
学校教育で使用するコンピュータ機器等を購入するものです。
- 【取得予定価格】 小学校用 5,389万円
中学校用 1,868万円
- 【契約の相手方】 エクナ株式会社

請願

- 上田面横手線街路整備事業に予定されている橋梁を一日も早く実現することを要望する請願
【請願者】 上田面土地区画整理事業地権者同盟会、堀野町内会
- 若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める請願
【請願者】 全日本年金者組合岩手県本部、全日本年金者組合二戸支部

議員発議

- 可決された意見書2件は、地方自治法第99条の規定により関係行政機関へ提出しました。
- 二戸市議会委員会条例の一部を改正する条例
二戸市組織条例の一部改正に伴う改正です。
- 米軍属による女性遺体遺棄事件に関する意見書
- 米軍属による女性遺体遺棄事件に厳重に抗議する決議
国に対し、沖縄県民の生命と尊厳を守る立場から事件に厳重に抗議するとともに、日米地位協定の抜本的な見直しなどを強く求めるものです。
- 若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書
国に対し、若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求めるものです。

質疑応答

●二戸市乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例

【問】医療費の現物給付の対象者に対する受給者証の交付はどのようにするのか。

【答】県内一斉に8月1日より施行となり、対象となる乳幼児と妊産婦それぞれに交付する。

【問】対象となる範囲は。

【答】県内医療機関で受診した場合に対象となるもので、県外医療機関で受診した場合は今までどおり償還払いとなる。

●平成28年度二戸市一般会計補正予算(第2号)
情報セキュリティ対策について

【問】システムの構築や再整備はいつまでに行うのか。

【答】1月から税情報をマイナンバーで処理することになるので、情報漏えいを防止するため、遅くとも12月末までにインターネットの分離などシステムを構築させなければならない。

【問】今後はどのような形になるのか。

【答】これまで2段階で行ってきた市の対策に、県と市町村が協力して行うセキュリティクラウドを構築し、さらに高度なセキュリティに結びつけていく。職員体制について

【問】職員定数と実職員数に開きがある。補充すべきでは。

【答】定員適正化計画の中で現状を踏まえて採用していく。

【問】医療職等専門職の体制強化についての考えは。

【答】現状を踏まえた採用の中で十分に補充して対応している。

【問】今年度の体制で女性の管理職に占める割合は。

【答】主幹登用は27年度25%、28年度36.4%であり、管理職全体では27年度11.5%、28年度13.8%である。男女どちらも能力のある者を登用しているものである。

【問】職員の年代構成の均衡がとれていない。新採用職員を増やすべきでは。

【答】歳入に見合った支出の中で

人件費を考えなければならない。その中で優秀な人材を慎重に選ぶ必要がある。

【問】マイナンバー通知カードについて

【問】当市の全体に対する申請者は何%か。

【答】申請件数は1,837件で、そのうち5月31日現在で交付されたのは1,340件、72.9%である。

【問】これまでにマイナンバーの記載拒否はあったか。

【答】今のところはない。

【問】今後のマイナンバー制度のシステム運用にかかる財源は。

【答】国からの補助金と同額を運営団体であるJ・L・S(地方公共団体情報システム機構)に支払うことになるので、市の負担はない。

●財産(小学校用コンピュータ機器等)の取得について

【問】今回導入しない残りの小学校4校分は。

【答】更新年数を7、8年とみており、年数に応じて順次導入していく予定である。

総務

常任委員会

●専決・平成27年度二戸市一般会計補正予算(第9号)

ふるさと納税の返礼品について

【問】今後の取り組みの姿勢は。

【答】全国では返礼品合戦になってきているという指摘もあるため、返礼品は寄付金額の3割程度を目安に考えていきたい。まちづくりに共感し、ご寄付いただいたことにお礼をするというのが大原則であり、市としてはその部分を踏み外さないようにと考えている。

●平成28年度二戸市一般会計補正予算(第2号)

上田面横手線街路整備事業について

【問】今後の計画は。

【答】アクションプランの中に平成32年度の

予備設計を組み入れている。

自治体セキュリティ強化対策委託料について

【問】交付金や補助金の措置がない状況で、多額の予算をかけて強化対策を行う理由は。

【答】現段階では、国の交付金等が見込めない状況ではあるが、他の自治体等においてサイバー攻撃によるウイルス感染被害の例もあり、情報流出などの被害を防止するためのセキュリティ強化は早急に進める必要があると判断したため。

国の見解は、自治体セキュリティ整備は市町村の責務としているが、予算措置を望む声は全国の自治体から上がっており、市としても県及び東北市長会を通じて国に要望している。

文教福祉

常任
委員会

●専決・平成27年度二戸市一般会計補正予算(第9号)

福祉対策基金積立金、民生費寄付金について

【問】ふるさと納税寄付金の使い方は。

【答】 敬老会開催事業、外出支援サービス事業、緊急通報システム整備事業など、福祉関係の事業に充当している。

スクールバス購入について

【問】更新したものが。

【答】 更新したものである。耐用年数を考慮し、15年ほどを目途として更新していきたい。

●二戸市乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療給付条例の一部を改正する条例

【問】対象者への周知は。

【答】 市の広報やホームページで周知するが、受給対象者の受給者証

を提示すれば、県内の医療機関窓口で請求されることはない。

●平成28年度二戸市一般会計補正予算(第2号)

中央児童クラブ実施設計業務委託料について

【問】スケジュールは。

【答】 今年度は予算編成時期までに実施計画、29年度に工事、30年度から事業を展開したい。

【問】施設の概要は。

【答】 今ある遊具を職員室前に移し、そこに木造平屋建て(定員40人の教室を3室、静養室や事務室、水飲み場など)の施設を予定。

シビックセンター管理費

【問】今年度の新規事業は。

【答】 田中館愛橋博士の生誕160周年を記念し、7月から3月末まで、田中館愛橋記念科学館の入館料を市内の高校生以下無料とする予定である。

産業建設

常任
委員会

●専決・平成27年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号)

【問】住民説明会を計画しているが、事業終了までは一定の時期をみて中間報告が必要では。

【答】 現状を説明することとは大事。ある程度の期間でやっていきたい。

【問】事業縮小の考えは。

【答】 飛換地があったり保留地処分を行っていきることから困難。国・県も理解している。

●二戸市汚水処理施設設置等に関する条例を廃止する条例

下水道との接続について

【問】工事の進捗状況は。

【答】 本管布設工事を発注し、8月末の接続を目標に進めている。

【問】当初から公共下水道に接続する計画だったのか。

【答】 浄化槽設置後に市の下水道整備計画を定めており、当初計画から取り込む予定であった。

●平成28年度二戸市一般会計補正予算(第2号)

市民協働道路整備事業

【問】対象となる場所は。

【答】 堀野大川原毛大谷地区のユニバースと二戸食品の間の道路である。

【問】市民の負担は。

【答】 市民から用地を無償提供していただき、市が工事から所有権登記までを行う。

多面的機能支払交付金

【問】新たに取組む組織の数と今後検討したい集落への対応は。

【答】 今年度新たに取組む集落は3つ。申請は6月30日を期限としているので、それ以後の取組みは29年度分の対応となる。

討論

●専決・平成27年度二戸市一般会計補正予算(第9号)

賛成 畠中泰子議員

今回の専決処分の中には、岩手北部広域環境組合の解散に伴う返還金24万円が計上されている。北部広域環境組合の設立当初から広域化の問題を指摘し、また広域化の見直しを求めてきた立場から、今回の解散に伴う返還金を評価する。引き続き、8市町村が共通認識のもと基本的総括を行い、住民に説明するよう求める。

スクールバスの更新については、市として保有するバスを有効活用して登下校の不安解消につなげるよう期待する。

●二戸市乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例

賛成 畠中泰子議員

8月から就学前児童と妊産婦の医療費助成で窓口負担をなくして現物給付とするもの。子育て世代と子ども達を励ますものであり、評価する。

本来的には国が制度として行うことを求めるものだが、県のこの制度に市がさらに単独で所得制限を撤廃し、対象年齢の拡大を引き続き追求していくことを求める。県に制度の拡充を、国には国の責任による制度化を求めていく決意を述べて賛成討論とする。

【審議結果】

議案番号等	議案名等	審議結果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて 二戸市税条例等の一部を改正する条例	承認（全員賛成）
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて 平成27年度二戸市一般会計補正予算（第9号）	承認（全員賛成）
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて 平成27年度二戸市下水道事業特別会計補正予算（第5号）	承認（全員賛成）
議案第4号	専決処分の承認を求めることについて 平成27年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算（第4号）	承認（全員賛成）
議案第5号	二戸市乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
議案第6号	二戸市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
議案第7号	二戸市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
議案第8号	二戸市汚水処理施設設置等に関する条例を廃止する条例	可決（全員賛成）
議案第9号	岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び岩手県市町村総合事務組合同約の一部変更の協議について	可決（全員賛成）
議案第10号	平成28年度二戸市一般会計補正予算（第2号）	可決（全員賛成）
議案第11号	固定資産評価員の選任に関し同意を求めることについて	同意（全員賛成）
議案第12号	財産（小学校用コンピュータ機器等）の取得について	可決（全員賛成）
議案第13号	財産（中学校用コンピュータ機器等）の取得について	可決（全員賛成）
議案第14号	平成28年度二戸市一般会計補正予算（第3号）	可決（全員賛成）
報告第1号	二戸市ふるさと振興株式会社の経営状況について	報告
報告第2号	二戸市一般会計繰越明許費の報告について	報告
報告第3号	二戸市下水道事業特別会計繰越明許費の報告について	報告
報告第4号	二戸市土地区画整理事業特別会計繰越明許費の報告について	報告
請願第1号	上田面横手線街路整備事業に予定されている橋梁を一日も早く実現することを要望する請願	採択（全員賛成）
請願第2号	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める請願	採択（全員賛成）
発議第1号	二戸市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
発議第2号	米軍属による女性遺体遺棄事件に関する意見書	可決（全員賛成）
発議第3号	米軍属による女性遺体遺棄事件に厳重に抗議する決議	可決（全員賛成）
発議第4号	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書	可決（全員賛成）

市政を問う！！

6人の議員が一般質問を行いました

質問者	質問項目	ページ
岩崎 敬郎 議員	1. 第2次二戸市総合計画・アクションプランについて	8
國分 敏彦 議員	1. 通学路の安全確保にふるさと納税の活用を 2. 定住、移住と特産品セールスと二戸市の活性化について	9
田口 一男 議員	1. 鳥獣対策について 2. 公共施設の案内板の表示について	10
清水 正敏 議員	1. コミュニティバスと循環バスについて 2. 歴史文化の発信について	11
及川 正信 議員	1. 少子高齢化を伴う人口減少時代への対応について 2. まちづくりに活かす「外国語習得」構想について	12
畠中 泰子 議員	1. 子どもの貧困の実態と対策 2. 子育て支援の拡充 3. 土地区画整理事業 4. 当市の男女平等の考えの基本	13

一般質問のラジオ放送

定例会の一般質問は、カシオペアFMで録音放送しています（定例会期間中と定例会終了後に1回ずつ放送）。

詳しい放送日程は、議会事務局またはカシオペアFMにお問い合わせください。

【問い合わせ先】

議会事務局 TEL 23-3111
カシオペアFM TEL 23-8779

周波数 77.9 MHz

請願・陳情のしかた

市政に要望がある時は、市議会に請願書や陳情書を提出することができます。

【請願と陳情のちがい】

- 請願は、紹介議員の署名または記名・押印が必要です。
- 陳情は、紹介議員を必要としません。

【請願・陳情の取扱い】

- 請願及び市内の方が提出した陳情は市議会で審査し、採択の場合は関係機関へ送付します。
- 市外の方からの陳情は、市議会より議員に配付します。

【記載していただく事項】

- ①提出年月日
- ②提出者の住所・氏名（団体の場合は名称、代表者の住所、氏名）・押印
- ③請願・陳情の要旨、理由
- ④請願の場合は、紹介議員1人以上の署名または記名・押印



朝の通学風景



國分敏彦議員

通学路の安全確保にふるさと納税の活用を

教育事業全体の財源調整の中で有効活用を進める

問 各学校通学路の安全確保に関する年次改善計画等はあるのか。ふるさと納税を活用して、順次改善すべきでは。

答 市長 年次改善計画等はない。

個別の要望等を伺いながら、改善を進めている。通学路安全推進会議を開催し、各学校から出された通学路の危険箇所について安全対策を実施している。危険箇所を協議、確認のうえ、関係機関と連携

を図って改善を進めている状況である。

今年度のふるさと納税の活用は、図書に親しむまち推進事業や学力向上推進事業等の財源に充てることとしている。教育分野の事業は数多くあるが、他の

基金も充当しながら事業を実施している状況である。教育指定のふるさと納税は一旦教育

振興基金に積み立て、その基金残高を見ながら今後も教育事業全体の財源調整の中で有効に活用してまいりたい。

5年後の定住・移住の目標人数は

平成32年度までに10人が目標

問 定住・移住、特産品セールスについて、二戸市活性化の具体策は。

答 市長 事業者が収入を確保できるようにすることが市の活性化を図る上で基本になる。農林畜産業や商工業において事業を引き継ぐ世代交代が

進んでいる。若い皆さんがお互いに切磋琢磨しながら活動することで、地域の特色を生かした産業が強くなり、市全体の活性化が図られるものと考えている。

問 海外セールス3年間の評価と今後の実施計画は。

答 市長 へのへブランドが海外で評価されることで新たな気づきや誇りの醸成につながった。今年度はジャパンブランド育成事業に応募し、採択いただいたことから、民間の発想を大いに発揮いただきながらプロモーションを進める。



ニューヨークの日本食レストランで浄法寺塗をPR

問 5年後の定住・移住の目標人数は。

答 市長 市の移住窓口を経由した移住者数を定義として目標数値を設定しており、平成32年度までに10人を誘致することを目標としている。



熊による被害への対策が求められる



田口一男議員

問

例年、熊や鹿等の被害が聞かれる。えさの不足で里へ頻繁に出没するなど、特に今年は熊による被害の増加が予測され、実際に死者も多く出ている。近隣市町村と鳥獣対策の連携はとられているのか。

答

市長 毎年、県北圏域鳥獣被害防止対策連絡会で被害状況や熊の出没傾向、被害防止対策等を協議

鳥獣による農作物被害への救済措置は市単独の補助も設け手厚く支援

答

市長 農業災害補償制度では、気象災害と同様に鳥獣被害も減収量に応じ補償額がある。国、県では電気柵や罾の設置等の基準に沿って補助が受けられる。市では単独で農作物鳥獣被害対策事業補助金を創設し、国や県の補助の対象とならない侵入防止柵、防鳥ネット、爆音機等の小規模施設について手厚い支援策を講じている。今後も被害軽減に努める。二ホンジカについては増加傾向にあり、一定の段階で駆除も考えられる。勉強しながら対応したい。

問

鳥獣の生態調査等による把握をしているか。

答

市長 稲庭岳周辺の生息数、生息状況等は把握しているが、市独自では調査把握に限界があるため、岩手県で調査し、県のホームページに公開されている岩手県野生生物目録等により把握している。

問

有害駆除と鳥獣保護の中で、鳥獣による農作物の被害を軽少とみて対応に力が注がれていないようにだが、救済措置はあるのか。

問

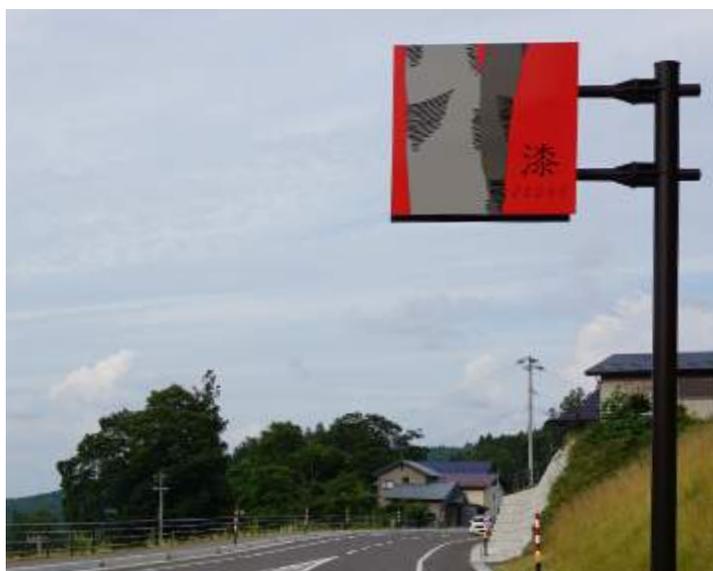
役所や観光施設の案内表示は、民間の表示と違い控えめだ。地域の中心へと誘導する案内表示板は小さく、建物の表示そのものも目につきにくい。国体など他県からの交流人口を促すうえからも、分かりやすく来客者に優しいまちにするような表示に直すべきと思うが、検討する考えはあるか。

答

市長 農業災害補償制度では、気象災害と同様に鳥獣被害も減収量に応じ補償額がある。国、県では電気柵や罾の設置等の基準に沿って補助が受けられる。市では単独で農作物鳥獣被害対策事業補助金を創設し、国や県の補助の対象とならない侵入防止柵、防鳥ネット、爆音機等の小規模施設について手厚い支援策を講じている。今後も被害軽減に努める。二ホンジカについては増加傾向にあり、一定の段階で駆除も考えられる。勉強しながら対応したい。

答

市長 新幹線開業から市のイメージアップを図るため旧市内35カ所に誘導サインを設置している。寂聴記念館、パークゴルフ場など新たな施設についても設置し、浄法寺バイパスには地元観光のPR看板を設置した。九戸城跡については、アクセス道路やエントランス広場の整備と併せ、誘導サインの新設や修正を進めている。今後、道路や公共施設等の整備の状況、観光施設の変化等に合わせ、分かりやすい誘導サインを検討する。



浄法寺バイパスに設置された観光 PR 看板

一 般 質 問



清水正敏議員

問 コミュニティバスの利用状況と今後の運行について伺う。

答 市長 市が運行しているコミュニティバスは、従来の患者輸送バスと廃止路線代替バスを統合し、24路線運行している。循環バスは、駅東口から八幡下、岩谷橋、荷渡地区、駅西口を經由し、東口に戻る経路で、毎週水曜日と土曜日に運行している。利用者は年々減少しているが、市民の皆さまから意見を伺い、ルート変更を含めて関係者と協議しながら、より多くの人にご利用いただけるよう考えていく。

問 バスの委託料は軽減することができるのか。

答 市長 バスの運行委託料は、一日一台当たりの委託料に運行日数を乗じて得た額から利用料など売り上げ収入を差し引いた金額を毎月支出している。バスの運行経費はほぼ横ばいであるので、利用者が増え利用料金が多くなれば委託料軽減につながるものである。

問 バスと運動した観光情報発信と商店街の活性化について伺う。

答 市長 地元商店街でも、バス利用のお客様に独自のサービスをするなど、様々なことが期待される。商工会等とも協議しながら進めていく。

市民の足となるコミュニティバスと循環バスの運行について
多くの方に利用いただけるよう対策を考える

問 九戸城を含めた近隣地域の観光情報発信について

今年度、当市のモデル地域として取り組んでいく

問 田中館愛橋博士ゆかりの家の修繕や今後の活用は。などの観光情報発信について伺う。

答 市長 二戸の顔となる地域と認識しているところで、市外から来た方が観光交流する重要な観光地であるとともに、市民の憩える場所にしたい。国体を契機とし、街歩きツアーや携帯端末によるガイド案内サービス等を整備し、当エリアの魅力を発信してまいりたい。

問 近隣にある神社やお寺、九戸城

町内会をはじめとした関係者等を交えた形で、建物の今後の活用方法について検討を始めたことと考えている。



田中館愛橋博士ゆかりの家（福岡字五日町）

機能を高めるとともに、園路整備等を進めている。今年度、九戸城周辺地域を当市のモデル地域の一つと位置づけ、部局横断的に取り組んでまいる。



脳卒中予防には幼少期からの減塩が大切



及川正信議員

市民の健康寿命を延ばすための更なる施策は 健康寿命の延伸を目指し、3つの柱を重点にして実施

問 健康寿命を延ばすための更なる施策が必要ではないか。

答 市長 平成28年度の取り組みとしては、3つの柱を重点に実施しているところである。

1つ目に、推定塩分摂取量検査を特定健康診査に加えるなど、脳

卒中予防のための高血圧改善の取り組み。2つ目は、若い世代を対象とした運動教室の開催など、ロコモティブ

シンドロームの予防。3つ目はゲートキーパーの養成など、自殺予防のための取り組み。今後も市民の健康寿命の延伸を目指して取り組みでまいりたい。

問 今後の介護給付費及び被保険者の負担見込みは。また、財政運営はどうかあるべきと考えるか。

答 市長 介護給付費の大幅な増加は見込んでいない。被保険者の負担については、今後の状況を見ながら次期介護保険事業計画の策定時に検討することになる。

国保の財政は、現時点では税率改正することなく、基金残高と繰越金を合わせた約5,350万円と法定外繰入金2,000万円を繰り入れることで何とか運営できるものと見込んでいる。平成30年度以降は国保の運営主体が県に移行することとなっているが、詳細は示されていない。引

き続き国や県の財政支援状況を見極めながら進めていく。

問 市民総健康活動を重点施策と位置付け、他市町村に先駆けて取り組む考えは。

答 市長 昨年度開催した健康フェスティバルは、脳卒中予防をテーマとして健康づくり推進に関わる約40の団体が参加し、1,000人が集まる市民総参加の健康づくりイベントであった。行政組織も28年度より健康福祉部を5課体制とし強化した。今後も市民一人ひとりが健康について考え、語り合い、楽しみながら生きがいを持って暮らせるよう取り組む。

他市町村に先駆けた外国語習得構想を



市立図書館3階にある放送大学岩手学習センター二戸校

生涯を通じて学べる環境の充実に努める

問 英会話ができる市民を多く養成する政策を進めては。

答 市長 外国語の学習については、国際交流団体が行っている学習支援活動への参加や、市が整備した放送大学岩手学習センター二戸校での学習など、習得を望む方がそれぞれ環境の中で目的に応じ、自身に合った方法で学んでいる状況である。今後とも、市民の学習成果が地域社会に還元され効果的に発揮される取り組みや市民の学習ニーズに応える取り組み、市民の皆様が生涯を通じて学べる環境の充実に努めていく。

一 般 質 問



畠中泰子議員

問 子どもの貧困対策が成立して3年。国の対応は極めて不十分だが、地方自治体は子どもの貧困改善のための施策づくりが責務となった。本市の対応状況と対策は。

答 市長 子どもの貧困対策の推進に関する法律が平成26年1月に施行、同年8月策定の大綱により国の責務として子どもの貧困対策を総合的に制定、実施することとなり、都道府県等に子どもへの貧困に関する検討の場の設置や計画策定の努力義務が定められ、本県では「いわて子どもの貧困対策推進計画」を本年3月に策定。本市としては関係法令及び国の大綱、県の推進計画に沿い関係

子ども医療費助成は、年齢拡大とともに所得制限撤廃を
まずは中学生までの拡大検討、所得制限撤廃は次の段階に

部署と連携して取り組む。本市独自の計画策定や条例等の制定は考えていない。

答 教育長 大綱で当面の重点施策として第一に教育の支援を掲げており、学校をプラットフォームとした総合的な対策の展開が重要と認識している。子どもの貧困対策は教育を充実させることと

考え進めてまいりたい。

問 実態を把握し、給付制奨学金や就学援助の入学準備金の年度内支給など検討すべき。

答 市長 給付制奨学金等は国の動向を注視していきたい。

問 子どもの医療費助成では、全国

の8割の市町村で所得制限を撤廃し、県内で県基準により制限しているのは6市1村だけ。全ての子育て世帯が子育て支援を実感できるように年齢拡大とともに所得制限の撤廃を。

答 市長 本年度中に年齢拡大について検討し結論を出したい。まずは中学生まで拡大し所得制限撤廃等は次の段階と考える。

長期化する土地区画整理事業、住民の立場で改善見直しを
様々な工夫をしながら長引く事業に対する住民の要望に応え進める

問 長期化する事業に対する不安の声や現状と今後について説明を求める声が多く寄せられている。長期化で現に起きている問題と改善策、打開策は。

答 市長 土地区画整理事業は、平



整備中の狭隘道路
台中平の土地区画整理事業地区で救急車が入れるよう住民の協力

によると思われる問題①清算の遅れについては現在、希望者には減歩緩和の辞退により仮換地面積を減らしており、更に今後は減歩緩和分を希望者が保留地として買い取ることにも検討中。②建築行為の制限については一定条件により増改築を認めてきている。③土地の売買が進まないことへの対応は、更地の場合でも一定条件により建築を許可し、土地取引を可能にできないか検討中。④空き地や老朽化の著しい建物については、今後は一定の基準により危険な建物と判断される場合に限り仮換地引き渡し前は建築しないことを条件に、建物撤去に係る補償を行えないか検討している。

成46年度の工事概成を目標に財政計画と事業費との調整を図り、事業期間の短縮を目指す。今後は重点整備地区の枋ノ木市民会館線や石切所小学校通りを中心に、狭隘道路に救急車が入れるようにする等が地域の要望に応えながら進めていく。長期化

支 出 の 内 訳									
調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費
		28,080	10,678			3,008			
	59,220		14,502				24,633		
				43,700					
		18,500						20,000	
77,260							3,000		
									16,200
				43,700			12,480		
		35,369							
		110,600							
							12,260		
	15,000						56,555		7,790
							83,705		
				43,700					
29,590							7,740		53,346
							3,440		
28,810							6,880		
450		25,123	72,917			3,264	3,970		
2,912	5,240	3,137				42,228	29,292		
							19,088		6,336
							75,892		9,635
30,840									4,842
				44,758		5,119			
		80,000					19,962		
		43,200					6,880		
						8,000	9,532		24,000
						16,000	28,136		48,000
		67,057							
							29,481		
						48,816			
						9,724			872
						52,000			
31,290	0	174,129	83,595	0	0	124,812	48,290	20,000	52,250
138,572	79,460	236,937	14,502	175,858	0	63,347	384,636	0	118,771

平成 27 年度 政務活動費

収支を報告します

政務活動費は、議員が調査研究や研修、広聴広報、市民相談などの活動を行う際の経費として議員1人当たり月1万円（年額12万円）を交付されるものです。

◎平成27年度は7月に改選があったため、4～7月分の改選前と8～3月分の改選後に分けて記載しています。

◎交付額を超える支出については自己負担となります。

◎残額は各議員より市の歳入に返還されました。



2016 希望郷 いわて国体
※10月8日～10日 広げよう 感動。伝えよう 感謝。

剣道競技

10月8日（土）～10日（月）
二戸市総合スポーツセンター

議員名	区分	交付額 (①)	支出額計	精算額 (②)	残額 (①-②)
駒木 昇	4～7月	40,000	41,766	40,000	0
	8～3月	80,000	98,355	80,000	0
清水 正敏	8～3月	80,000	43,700	43,700	36,300
内沢 真申	4～7月	40,000	38,500	38,500	1,500
	8～3月	80,000	80,260	80,000	0
米田 誠	4～7月	40,000	16,200	16,200	23,800
	8～3月	80,000	56,180	56,180	23,820
三浦 利章	4～7月	40,000	35,369	35,369	4,631
	8～3月	80,000	110,600	80,000	0
田口 一男	4～7月	40,000	12,260	12,260	27,740
	8～3月	80,000	79,345	79,345	655
菅原 恒雄	4～7月	40,000	0	0	40,000
	8～3月	80,000	83,705	80,000	0
田村 隆博	4～7月		申請なし		
	8～3月	80,000	43,700	43,700	36,300
國分 敏彦	4～7月		申請なし		
	8～3月	80,000	90,676	80,000	0
小笠原清晃	4～7月	40,000	3,440	3,440	36,560
	8～3月	80,000	35,690	35,690	44,310
新畑 鉄男	4～7月	40,000	0	0	40,000
	8～3月	80,000	0	0	80,000
畠中 泰子	4～7月	40,000	105,724	40,000	0
	8～3月	80,000	82,809	80,000	0
田中 勝二	4～7月	40,000	25,424	25,424	14,576
	8～3月	80,000	85,527	80,000	0
田代 博之	4～7月	40,000	35,682	35,682	4,318
	8～3月	80,000	49,877	49,877	30,123
岩崎 敬郎	4～7月		申請なし		
	8～3月	80,000	99,962	80,000	0
田口 一	4～7月		申請なし		
	8～3月	80,000	50,080	50,080	29,920
及川 正信	4～7月	40,000	41,532	40,000	0
	8～3月	80,000	92,136	80,000	0
鈴木 忠幸	4～7月	40,000	67,057	40,000	0
	8～3月	80,000	29,481	29,481	50,519
高村 人司	4～7月	40,000	48,816	40,000	0
西野 省史	4～7月		申請なし		
清川 明彬	4～7月	40,000	10,596	10,596	29,404
鷹場美千雄	4～7月	40,000	52,000	40,000	0
大沢 孫吉	4～7月		申請なし		
合計	4～7月	640,000	534,366	417,471	222,529
	8～3月	1,440,000	1,212,083	1,108,053	331,947

二戸の市政に活かすため、先進地の取り組みを学びました

総務常任委員会

【視察月日】7月4日(月)～7月6日(水) 【視察先】長野県上田市、佐久市、埼玉県本庄市 【視察者】田代博之委員長、内沢真申副委員長、新畑鉄男委員、田中勝二委員

わがまち魅力アップ応援事業

上田市では、まちづくりの主役である市民自らが地域の魅力を高め、市民の交流促進を図るために取り組む事業に対し、補助を行っている。▼所感 当市でも良いところは取り入れ、公平性を保ちながら市民の声に耳を傾け、また改正すべきことは柔軟に対処し、市民協働のまちづくりを進めてもらいたい。

移住・定住促進事業

佐久市では、人口減少社会の到来を背景に、移住・定住の促



興味深い取り組みに多くの質問が出されました
(本庄市役所)

進に力を入れている。空家や就労に関する情報や相談サービスの充実、JR東日本等と連携した「移住お試しツアー」等旅行商品の展開、無料で市内の暮らしを体験できる住宅の提供、住宅購入に係る補助など、様々な策を講じている。▼所感 当市でも本気で取り組むのであれば、まちの魅力を前面に出し、住宅や就労等をサポートしながら交流人口の創出も進めていく必要があると感じた。

中学生まちづくり議会

本庄市では、次代を担う中学生に市政への理解と関心を深めてもらうこと、平成6年より本事業を実施している。本会議さながらに、中学生にまちづくりに対する考え方や提案を發表してもらっている。▼所感 若い時からまちづくりへの思いや政治への関心を深め、投票率の向上を進めるためにも必要な事業であると考ええる。

管外行政視察レポート

文教福祉常任委員会

【視察月日】6月28日(火)～6月30日(木) 【視察先】北海道美唄市、留萌市、札幌市 【視察者】三浦利章委員長、米田誠副委員長、清水正敏委員、田口一男委員、菅原恒雄委員、小笠原清晃委員

美唄サテライト・キャンパス事業

美唄市では、短期大学の閉校や高校の合併など高等教育の機会が減少する中、自ら意欲を持って地域づくりに取り組む人材を育成しようとして、平成24年度より本事業を開始した。近隣大学と協定を結び、大学講師による様々な市民対象講座を展開。運営は市や教育委員会、商工会議所の連携による。▼所感 地域資源を活かした地域づくりや、大学の地域貢献という意味でも評価すべき事業と思われる。

留萌市は脳卒中の発症割合が高い地域であったため、予防医学の視点から、医学研究を誘致し理想的な医療環境を構築しようとして試みている。平成21年に全国で13番目の認証を受け開設した健康の駅

留萌市は脳卒中の発症割合が高い地域であったため、予防医学の視点から、医学研究を誘致し理想的な医療環境を構築しようとして試みている。平成21年に全国で13番目の認証を受け開設した健康の駅



施設をくまなく案内していただきました
(資生館小学校)

た健康の駅は、健康相談や健康測定、運動教室など、市民の健康意識の向上や自主的な健康づくりの場として活用されている。▼所感 医科大学との医療人材交流拠点形成は容易なことではないが、市民の健康を守るうえで参考とすべき事例である。

札幌市立資生館小学校

札幌都心部の子ども関連複合施設として、平成16年4月に開校。児童数減少に伴い学校統合した小学校の校舎のほかに、三二児童館、子育て支援総合センター、保育所が併設されている。▼所感 4つの機能が同じ施設内に集約されていること、入口は一つで警備員に守られていることなど、子育てする側にとっては安心して利用しやすい施設と見受けられる。

平成 28 年第 2 回臨時会

平成 28 年 7 月 25 日に第 2 回臨時会が召集され、次の議案について全員賛成で可決されました。

- 議案第 1 号【損害賠償の額の決定及び和解について】
- 議案第 2 号【損害賠償の額の決定及び和解について】
- 議案第 3 号【平成 28 年度二戸市一般会計補正予算（第 4 号）】 補正額 46 万円

7 月 3 日に発生した強風により市有地の樹木が倒れ、隣接する家屋を破損させたことによる損害賠償の額を決定し、和解をしようとするものです。

議会報告会を開催しました



生きいき交流センターの様子



東仁左平地区センターの様子

≪ 開催会場 ≫

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 二戸市シビックセンター | 東仁左平地区センター |
| 生きいき交流センター | 金田一コミュニティセンター |
| 石切所公民館 | 御返地生活改善センター |
| 上斗米地区農村環境改善センター | 太田地区活性化施設（旧太田小学校） |
| カシオペアセンター大嶺分館（おおい館） | |

5 月 25 日から 27 日までの 3 日間、市内 9 会場で議会報告会を開催し、議員による報告や意見交換を行いました。
参加者からは、漆の振興策やいわて国体に向けた準備、土地区画整理事業の進捗状況、耕作放棄地の活用方法、空き家対策など活発な意見がありました。寄せられた意見は取りまとめのうえ、市の取り組みに繋がるよう努めてまいります。

熊本地震にかかる義援金について
二戸市議会では、平成 28 年 4 月 14 日に発生した熊本地震を受けて、被災地の復旧・復興に役立てていただくため、議員全員による義援金を九州市議会議長会を通じて被災地へ送りました。被災地の皆様が一日も早く平穏な暮らしを取り戻せますよう、心よりお祈り申し上げます。
二戸市議会議員一同

長年の功績を称え表彰

5 月 31 日に東京都で開催された第 92 回全国市議会議長会定期総会で、本市議会から 3 人の議員が表彰を受けました。受賞者には、6 月 9 日の定例会初日に表彰状が伝達されました。



議員在職 10 年以上
小笠原清晃 議員



副議長在職 4 年以上
岩崎 敬郎 議員



議長在職 4 年以上
菅原 恒雄 議長

議会活動の報告（5 月 28 日から 7 月）

- 5 月 31 日
閉会中の総務常任委員会
閉会中の文教福祉常任委員会
- 6 月 1 日
閉会中の産業建設常任委員会
- 6 月 7 日
議会運営委員会

- 6 月 9 日～6 月 21 日
平成 28 年第 2 回定例会
- 6 月 21 日
議会運営委員会
- 6 月 28 日～6 月 30 日
文教福祉常任委員会管外行政視察
- 7 月 4 日～6 日
総務常任委員会管外行政視察

- 7 月 20 日
閉会中の議会運営委員会
- 7 月 25 日
議会運営委員会
平成 28 年第 2 回臨時会
議会だより編集委員会
- 7 月 29 日
カシオペア連邦議会議員協議会総会

小学生が議場を見学

6月17日、御返地小学校の3年生2人が社会科見学で市役所を訪れ、議場を見学しました。

初めて足を踏み入れる議場に緊張気味の子どもたちでしたが、議長席に座ったり、マイクを使って壇上で発言をしたりと、本会議さながらの雰囲気を経験し楽しんだ様子でした。



市議会会議録を公開しています

会議録は、定例会、臨時会での本会議のすべての内容を記録・製本して、市役所1階情報公開コーナー、市立図書館及び浄法寺カシオペアセンターに備えてあります。また、平成18年以降の定例会、臨時会の会議録は市のホームページで閲覧・検索できます。



キーワード入力による検索や、質問者・答弁者の2段階表示もできます

▼市ホームページ「二戸市議会」から「会議録検索システム」へ▲

議会を傍聴してみませんか

本会議は、受付簿に住所と名前を記入するだけで傍聴できます。また、車椅子をご利用の方も傍聴が可能です（介助が必要な場合は事務局職員へお声がけください）。市役所と浄法寺総合支所の1階ホールでは、テレビで議会中継を見ることが出来ます。※6月定例会の傍聴者は11人（延べ人数）でした。

9月定例会を開催します

次回の定例会は、8月29日（月）に開会の予定です。詳しい日程につきましては、二戸市議会ホームページで確認、または議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

暑さ厳しい時節を迎えました。本年は暑さが長期に続く予想されておりますが、熱中症対策は万全でしょうか。くれぐれも健康にご留意されますように。

さて、6月定例会はいつもと変わった議場の雰囲気でした。10月46年ぶりに地元開催となるいわて国体を盛り上げようと、議員や市長らが色とりどりの国体ポロシャツを着用しました。

議会だよりは第40号の発行となりました。議会の情報を市民の皆さまに分かりやすく伝えられるよう日々奮闘しております。さらに工夫すべきところが多々あると思いますので、ご意見・お気づきの点などお寄せください。今後とも皆さまに親しまれる紙面づくりに努めてまいります。

（駒木昇記）

議会だより編集委員会

委員長	内沢 真申
副委員長	清水 正敏
委員	駒木 昇
	三浦 利章
	島中 泰子

市議会のホームページアドレス
市議会のメールアドレス

http://www.city.ninohe.lg.jp/forms/menutop/menutop.aspx?menu_id=21gikai@city.ninohe.iwate.jp